

# 小型油圧引張試験機

カクタス SLP-5T型

あと施工アンカー引張試験機

## 取扱説明書



適合サイズ

M6 ~ M16

W1/4 ~ W5/8

D8 ~ D13



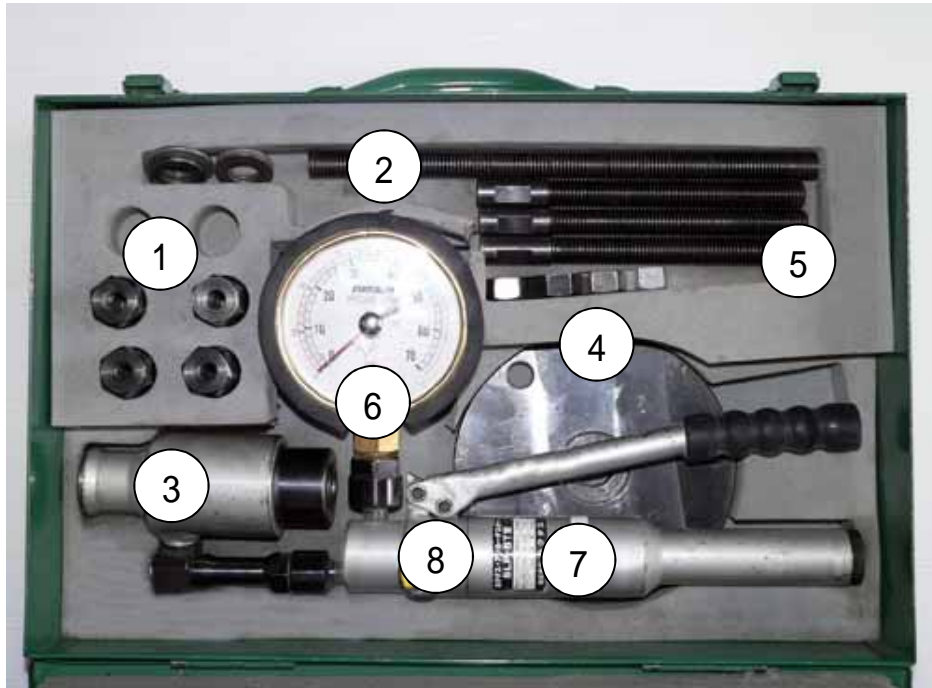
株式会社 トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号  
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

# 目 次

1, 各部名称	……	P-1
2, 組立手順	……	P-2 ~ 3
3, 操作手順	……	P-4 ~ 5
4, 注意事項	……	P-6

# 1, 各部名称



カプラ (M10、M12、W3/8、W1/2)

センターシャフト

センターホールシリンダー

反力台

反力台調整ボルト

圧力計(赤色表示・・・kN計)

油圧ポンプ

出戻バルブ

## 2, 組立手順



あと施工アンカーが内ネジの場合、  
適合サイズのボルトをねじ込みます。



適合サイズのカブラを  
ねじ込みます。



センターシャフトをねじ込みます。

**⚠** カブラとの隙間が無くなるまでねじ込んで下さい。

ねじ込みが不十分だとボルト等のねじ山が  
損傷し、ボルトや機械が飛び出して事故や  
怪我を招く恐れがあります。



反力台に反力台調整ボルトをセットします。



反力台を設置し、センターシャフトと  
反力台が直角になるよう  
反力台調整ボルトを調整します。

**⚠** 水平に置かれていないと偏荷重が架台及び  
テンションボルトに発生し、ボルトや機械が  
破損し事故や怪我を招く恐れがあります。



センターホールシリンダーを挿入します。

各ジョイント部が可動式に  
なっている為、圧力計等の転倒に  
注意して下さい。



ワッシャーを挿入し、ナットを  
取付けます。



ナットを軽く締め込みます。

反力台がガタついている場合は、  
反力台調整ボルトで調整してガタつきが  
無くなる様にして下さい。

### 3, 操作手順



圧力計の置針を“0”に合わせます。  
(圧力計中央のツマミを回すと赤針が回ります)

目盛について...赤の数字がkN目盛になります

赤字:kN 黒字:MPa



出戻バルブを【ON】方向にゆっくり  
回します。  
(停止するまで回してください。但し工具等  
を使用して回すと破損の恐れがありますので  
必ず手で回してください。)



ハンドルをゆっくり上下に繰り返し、  
設定荷重まで加圧します。

【加圧速度の目安】

$$\text{アンカーねじ径の} \\ \text{有効断面積(mm}^2\text{)} \times \frac{\text{毎秒}}{0.02\text{kN/mm}^2} = \text{kN}$$

(例) M16の場合

$$157.0\text{mm}^2 \times \frac{\text{毎秒}}{0.02\text{kN/mm}^2} = \frac{\text{毎秒}}{3.14\text{kN}}$$



注意:ボルトの先端に顔、体を向けない

赤の針の示す位置が引張荷重です。

(1目盛:2kN)





出戻バルブを【 OFF 】方向に  
ゆっくり回して減圧します。

## 4, 注 意 事 項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, 圧力計には、急激なショックを与えないで下さい。 故障の原因となります。
- 4, 油を使用しているため、火気の附近や溶接作業を行っている場所では使用しないで下さい。
- 5, 使用中油温が60 を越すと圧力が上がらない場合があります。冷却後、使用して下さい。
- 6, 油が目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けて下さい。
- 7, 油が皮膚に触れた場合は、水と石鹼で十分に洗ってください。
- 8, 油を飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、直ちに医師の診断を受けてください。

### 『引張荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所によって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、引張試験を行って下さい。